

「ヘルスチャレンジ2017」の取り組みが、 「おかやま健康づくりアワード2018」(地域部門) で表彰されました。

岡山県生活協同組合連合会

岡山県では、健康寿命の延伸に向け、健康づくりに熱心な企業や団体を表彰する「おかやま健康づくりアワード」を今年初めて実施しました。9月5日(水)に、岡山県医師会館三木記念ホールで開かれたアワードの式典では、伊原木隆太県知事から、7項目の「健康づくり宣言」が行われ、シドニーオリンピック女子マラソン入賞で地元環太平洋大学特任准教授の山口衛里さんを「おかやま健康づくり大使」に任命しました。その後、「職場部門」と「地域部門」それぞれ5団体の表彰式があり、岡山県生協連の「ヘルスチャレンジ2017」の取り組みが評価され、「地域部門」で表彰されました。近藤清志県生協連会長理事が伊原木隆太県知事から表彰状とクリスタルトロフィーを受け取りました。昨年の厚生労働省健康局長優良賞(団体部門)受賞に続いて、2年連続の受賞となりました。

「おかやま健康づくりアワード」とは

岡山県内における職場や地域で、健康づくり活動に積極的に取り組み、他の模範となる企業や団体を表彰することにより、その功績を称えらるとともに、その活動内容を広く紹介し、県民の健康づくり活動を推進することを目的として実施され、2018年が第1回目です。

今回の地域部門の5つの受賞団体は以下のとおり

岡山県生活協同組合連合会、岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会、岡山県看護協会、
吉備国際大学社会科学部スポーツ社会学科

